

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	名古屋市		地区名	栄・伏見・大須地区(第2期)		面積	571ha				
交付期間	令和3年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	276.6百万円	国費率	50%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場):栄ミナミ地区道路空間、高質空間形成施設(緑化施設等):栄ミナミ地区道路空間											
		提案事業	-											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	-		-		-							
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-		-							
		提案事業	まちづくり活動推進事業(道路空間の再整備に向けた社会実験):錦二丁目地区道路空間		錦二丁目地区において、将来的な歩道拡幅に向けた社会実験を実施するため。		なし							
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	歩行者通行量(休日)	人/12h	31,598 <small>(内訳) ①輸送機東交差点付近(5,700) ②栄交差点付近(11,090) ③栄通町交差点付近(14,832)</small>	令和1年	33,200	令和6年	モニタリング	評価値	41,028 <small>(内訳) ①輸送機東交差点付近(4,580) ②栄交差点付近(21,838) ③栄通町交差点付近(14,592)</small>	○	あり なし	歩道拡幅工事に加えて、シェアサイクルポートの増設、自転車駐車場の整備等を行った結果、歩行者の回遊性が向上し、歩行者通行量の増加につながった。3つの調査地点の中で、本整備計画で実施した事業箇所近郊に位置する②の栄交差点付近の交通量が増加しており、一定の効果があったと考えられる。	令和7年12月
	指標2	シェアサイクル利用回数	回/年	5,506	令和1年	8,200	令和6年			10,460	○	あり なし	シェアサイクルポートを4基(総台数51台)から8基(総台数79台)に増設した結果、栄エリア内の回遊性が向上し、シェアサイクルポートの利用増加につながった。	令和7年12月
	指標3	放置自転車台数	台	2,191	令和1年	2,000	令和6年			812	○	あり なし	名古屋市の施策として、令和5年4月から栄エリア(栄駅周辺、久屋大通駅周辺など)が自転車等放置禁止区域に指定されたことや自転車駐車場の整備が進んだことにより、大幅に放置自転車の減少につながった。	令和7年12月
	指標4											あり なし		
	指標5											あり なし		
	3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
その他の数値指標1														
その他の数値指標2														
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	久屋大通公園(北・テレビ塔エリア)の再開発事業や中日ビルの開業等によって、地域全体の魅力が向上し新たな賑わいが創出された。また、本整備計画(第1期計画及び第2期計画)にて、歩道拡幅やデジタルサイネージの設置、パークレットの設置、シェアサイクル事業、自転車駐車場の整備等を実施しており、まちの回遊性や魅力の向上に寄与している。													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた							
	官民連携による取組						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
	持続的なまちづくり体制の構築	・栄ミナミまちづくり株式会社(都市再生推進法人) ・錦二丁目エリアマネジメント株式会社(都市再生推進法人)					都市再生整備計画に記載し、実施できた			●引き続き、持続的な「安全で賑わい溢れる歩道空間」の創出に向け、官民連携による取組を進めていく。				

様式2-2 地区の概要

栄・伏見・大須地区(第2期)(愛知県名古屋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

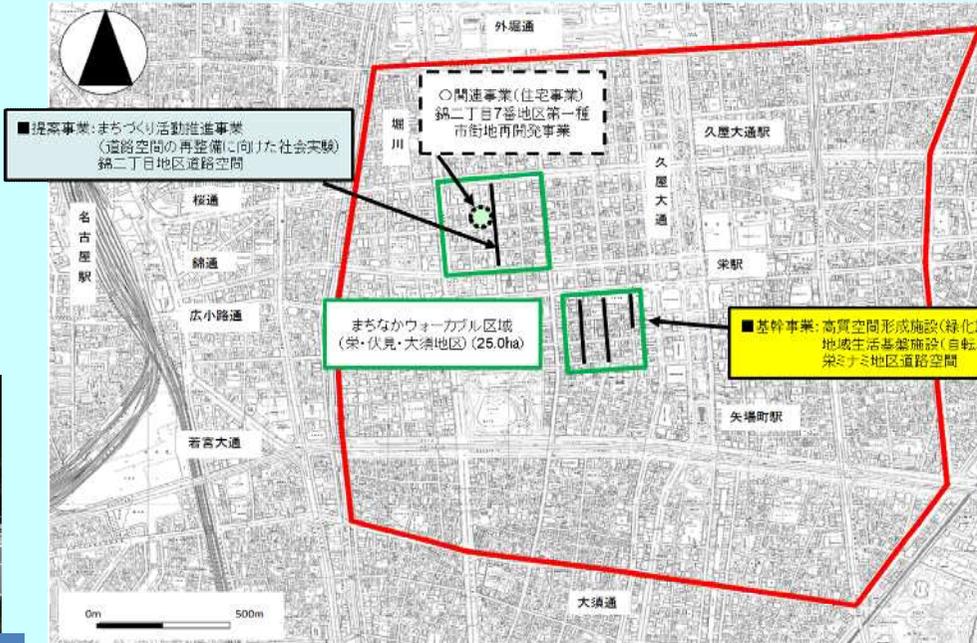
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	令和1年	目標値	令和6年	評価値	令和5年
大目標: 世界に冠たる「NAGOYA」の象徴たる都市空間の形成 目標: にぎわいの創出や回遊性と都市機能の相乗的向上による中心市街地の形成	歩行者通行量(休日)	単位: 人/12h	31,598	令和1年	33,200	令和6年	41,028	令和5年
	シェアサイクル利用回数	単位: 回/年	5,506	令和1年	8,200	令和6年	10,460	令和5年
	放置自転車台数	単位: 台	2,191	令和1年	2,000	令和6年	812	令和5年



七間町通(歩道拡幅)



デジタルサイネージ(都市利便増進協定)



凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業



七間町通(自転車駐車場)



シェアサイクル(都市利便増進協定)

まちの課題の変化	本地区は、名古屋駅地区とともに、名古屋の大きな2つの中心核の1つであり、商業機能や娯楽機能が集積する地区であるが、近年、名古屋駅前の開発が進み、商業地としての地位は相対的に低下しつつある。その背景を踏まえ、本地区においては、公共空間を活用しやすい仕組みづくりが十分確立できていないことや、地区内移動のための交通サービスなどの対策が不十分といった課題を有することから、本整備計画により、歩道拡幅や自転車駐車場、デジタルサイネージ(地区内の施設や飲食店等の情報を掲載)、シェアサイクルポート、パークレットの整備を行った。これらにより、商業と共存する、安全・安心なまちづくりが進み、魅力と活力のある新たな都市空間の創出や栄地区、伏見地区、大須地区の回遊性の向上につながった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	栄・伏見・大須地区の次期計画(令和7年度～令和11年度)において、栄ミナミ地区等の道路空間の再整備(歩道拡幅、自転車駐車場の整備)をすすめ、地区の特徴を活かしたまちの魅力が感じられ、安全で快適な魅力的なまちづくりの実現を進めるとともに、道路占用許可特例、都市公園占用許可特例、都市利便増進協定を活用した官民連携事業(デジタルサイネージ、シェアサイクルポート、パークレット等)による持続的な「安全で賑わい溢れる歩道空間」の創出を図ることにより、栄・伏見・大須地区全体の回遊性や魅力の向上につなげていくよう努める。また、名古屋市自転車活用推進計画内の施策と連携するとともに、放置自転車の抑制に対する啓発活動等を行い、放置自転車の抑制に努める。